

収穫したてのトマトを水で洗ってそのままかぶり



たわわに実ったトマトをもぎる



になっていました。

るクッキングやエアロビクスがありますので興味のある方は 者のみの参加となります。 「親子わくわく教室」 27 | 3 | 0 | 4 | 0 は、 行われます。 年間8回 までお問い合わせください。 (内1回目と8回目は保護 この他にも親子ででき

保

舞われました。どれもみんなおいしいと大好評でした。

さんが用意してくれたトウモロコシやキュウリの漬物などが振

方がその場で茹でてくれたジャガイモや枝豆、

その他には大和田

たちはもちろんお母さんたちにも甘くておいしいと好評でした。

昼食には、各自で持参したおにぎりと食生活改善推進協議会の

水道水で洗ってそのままパクリ。

無農薬栽培ということで、子供

トマトの収穫です。ハウスに植えられたトマトをみんなでもぎり

ジャガイモをカゴいっぱいにとったら、

|穫力ボチャを学校給食でいただきました

収

行いました。 学習事業の一環として、 が5月に苗植えをし、収穫したカボチャが利用されました。 校給食に自分達の生産した地場農産物を活用することを目的に 7月19日 (木) 広野小学校の学校給食の食材に3年生と6年生 日本の食糧生産を担う農業を体験し、 学

穫を体験しました。子どもたちは、近くの農家 カボチャの具を見つけあいながら笑顔で味わっていました。 カボチャを見せられ、 あと、葉の生い茂った草むらに入り大きく実ったカボチャを見つ 土豊子さんに収穫に適したカボチャの見分け方の指導を受けた を体験した3年生と6年生は給食前に担任の先生から収穫した ては競って収穫していました。 (を体験しました。 子どもたちは、近くの農家 芳賀吉幸さん、白8月1日 (水) には広野町児童館の子どもたちがカボチャの収 カボチャはカレーとして給食のメニューに並びました。苗植え おおきく実ったことを喜び、 カレーの中に



8月1日に広野町児童館の子供たちが近くの農家の方々 の協力を得て収穫しました。収穫したカボチャは児 童館のおやつに、保育所、デイサービスセンター広 桜荘の給食に活用されました。

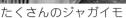


今回のメニューのカボチャカレー。みんなおいしそうに食 べていました。

デイサービスセンター広桜荘の給食にも利用されました。

収穫した30個のカボチャは、児童館のおやつに活用し、保育所





素手で土を掻き分け、

体験しました。

まず最初は、

ジャガイモ畑に全員で移動して、

お友だちやお母さん、弟、



·生懸命にジャガイモを掘り当てる

の問題を知り、



参加者にあいさつする大和田さん

や都市への人口の集中、

日本の食に対する関心が年々高まっています。

食が多様化、複雑化することで様々な問題が発生しています。

冷凍保存技術や調理加工技術の向上など

産業構造の変化

問題などの食の安全性。

予備軍を含めると

人口の約1割の約1620万人が糖尿病とされる生活習慣病。

SE (牛海綿 状脳症)

習慣病予防などについて楽しく学べる教室です。 たもので、 大切さを知ってもらうものです。 広野町の取り組みを紹介します 今回は 7 月 25 日 この教室は5歳から6歳になる幼児とその保護者を対象とし が行われました。 「畑に行こう」と題した体験学習で、 親子での体験学習などを通じ、 水 町が行う健康教育事業である「親子わくわく教 健康の保持増進や生活

HIRONO 02 広野町 食育への 取り組みとは?

の消費が落ち、穀物を輸入に頼る食の海外への依存など。これら 子どものころに健全な食生活を身につけることで日本の食の 所有の畑とハウスをご好意によりお借りして行われま 改善しようと子どもたちに食育が行われていま 大きいジャガイモを掘り当てることに夢中 妹たちといっしょに ジャガイモ掘 大和田久司さん

7月19日に広野小学校の給食に収穫されたカボチャが(カ ャカレー)活用され、みんなでいただきました。 自分たちが収穫したカボチャの説明を受ける児童。収 穫の喜びを味わう。



5月11日に広野小学校3年生と6年生が鈴木郁さん (上浅見字桜田) の指導でカボチャの苗植えをしま